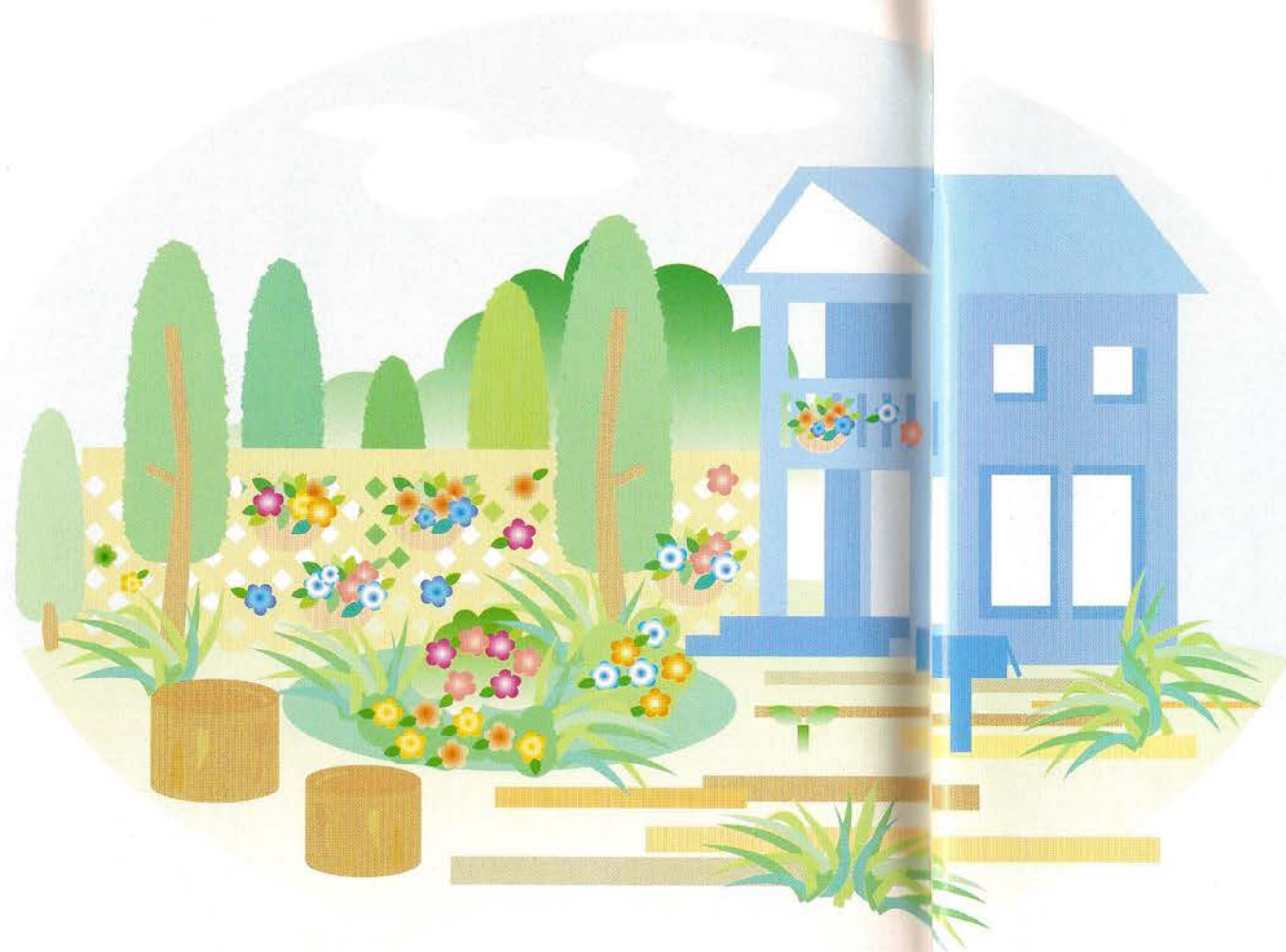


すくすくみどり

No.11 緑と花のある暮らし



財団法人札幌市公園緑化協会



この小冊子の内容をもっと詳しくお知りになりたい方、または他の植物についてお知りになりたい方は、巻末の「緑の相談」をご利用ください。専門の相談員があなたのご質問にお答えします。

● ● 目 次 ● ●

はじめに	P2
第10回緑と花のフォトコンテスト	
グランプリ作品	P3
第32回緑の絵コンクール	
大賞作品	P4~5
私たちの暮らしと緑	P6~7
緑を育ててみよう！まずは身近な緑から	
こんな道具があると便利	P8
こんな土なら花も緑もすくすく	
古い土の再生と再利用	P9
花と緑を生かしましょう	P10~11
容器、質感・形状、色彩など	
寄せ植え PART 1	P12~13
寄せ植え PART 2	P14~15
ハンギングバスケット	P16~17
植え込み後の管理	P18~19
緑と花でドレスアップ 1	P20~21
玄関アプローチ、ベランダ	
緑づくり花づくりは札幌がいい！	
緑と花でドレスアップ 2	P22~27
ガーデニングフェア・さっぽろより	
札幌市長賞	
(社)札幌造園協会理事長賞	
(財)札幌市公園緑化協会理事長賞	
(社)北海道造園建設業協会会長賞	
審査員特別賞	
緑の相談	P28
グリーンデータバンク	P29
札幌市都市緑化基金	P30~32

はじめに

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に冬の長い北国では花や緑が貴重ですし、鮮やかな花や緑が室内にあるだけでホッとしたり、やさしい気持ちになったり、あるいは部屋全体が華やかで豪華な雰囲気になったりするなど、様々な効果とはたらきを与えてくれます。

また、昨今はガーデニングブームということもあって一般の書店でも数多くの園芸解説書が販売されています。しかし、書店で売られている本州方面、特に関東地方を標準として考えられた園芸解説書では、私たちの住む街札幌の気候条件が本州と大きく異なるため、当てはまらないことや説明できないことも数多くあるようですし、改良したり販売される植物自体も暑さに強い点が重要視されているようです。

北国札幌では、家のづくり、ベランダや窓辺の向き、暖房器の種類と位置のほか、四季だけをとても長く寒い冬、遅く短い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しく夜温の下がる夏、短い秋など、これら独特の条件が園芸における重要なポイントになっています。

この小冊子は、夏の暑さやムシに弱く本州方面では栽培が難しい植物でも、夏が涼しい札幌の気候条件下では元気に育ったり、葉や花の発色も鮮やかなことなど、札幌における園芸の優位性と楽しみを実際に多くの方々を知っていただき、またこれから緑と花を楽しめるの方々にとっても平易な手引書として活用していただくことを願って作成しました。

園芸を楽しめる方がこの小冊子を有効に活用してくださり、花と緑にふれあう環境づくりの第一歩としていただければ幸いです。

なお、この小冊子作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）の一部を使わせていただきました。

紙面で失礼ではありますが、ご協力をいただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積立へのご協力をお願い申し上げます。



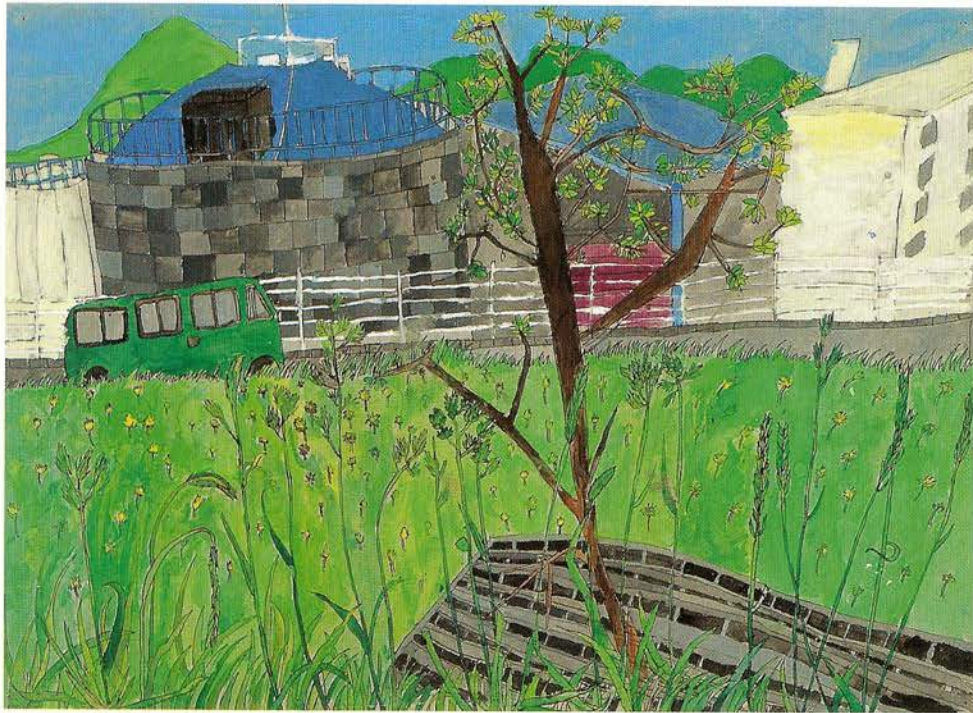
第10回（平成10年度）緑と花のフォトコンテスト
グランプリ作品

「香りをうけて」（撮影場所：百合が原公園）

平崎 進さん（札幌市東区在住）

第10回緑と花のフォトコンテストには、四ツ切部門に71名166点、サービスサイズ部門に53名166点、計124名332点の力作が寄せられました。

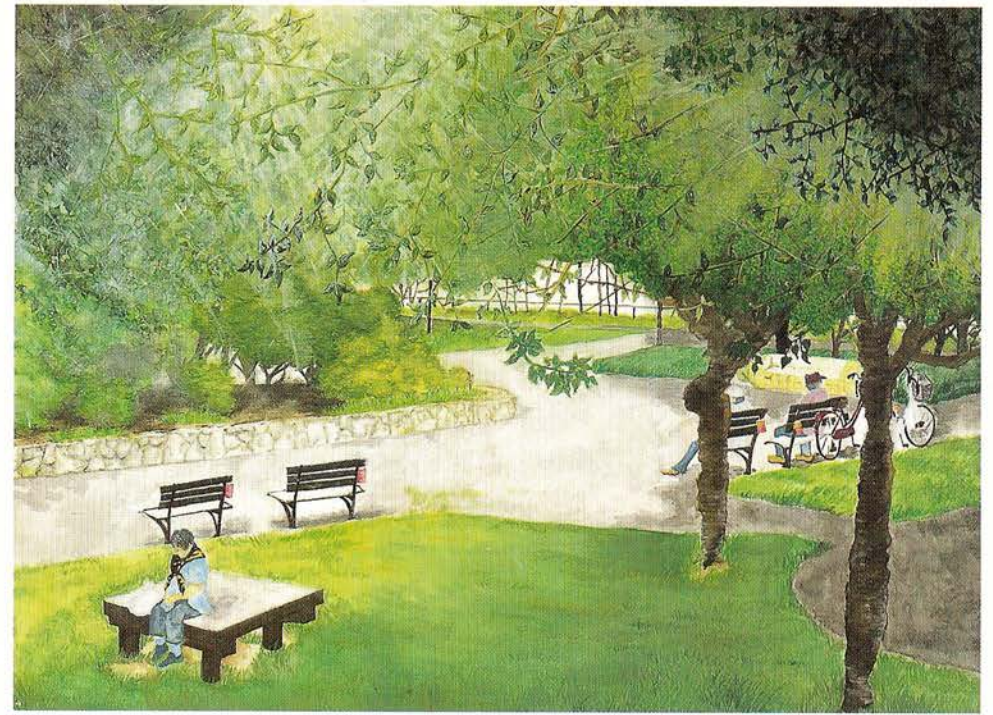
第11回緑と花のフォトコンテストも、札幌市内の公園や緑地での花や緑、自然とのふれあいなどをテーマとして皆様からのステキな作品、ほのぼのとした楽しい作品を募集しています。（※切平成11年8月末日）



第32回（平成10年度）緑の絵コンクール
大賞作品

箱崎 有美さん（札幌市立琴似中央小学校 5年生）

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小中学生を対象として札幌市環境局緑化推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。



第32回（平成10年度）緑の絵コンクール
大賞作品

坂井 ひとみさん（札幌市立八軒中学校 3年生）

第32回緑の絵コンクールは、小学校から20校1,415点、中学校から14校727点、計2,142点の応募が寄せられ、小学生の中から箱崎有美さん、中学生の中から坂井ひとみさんの作品を大賞作品として選考しました。

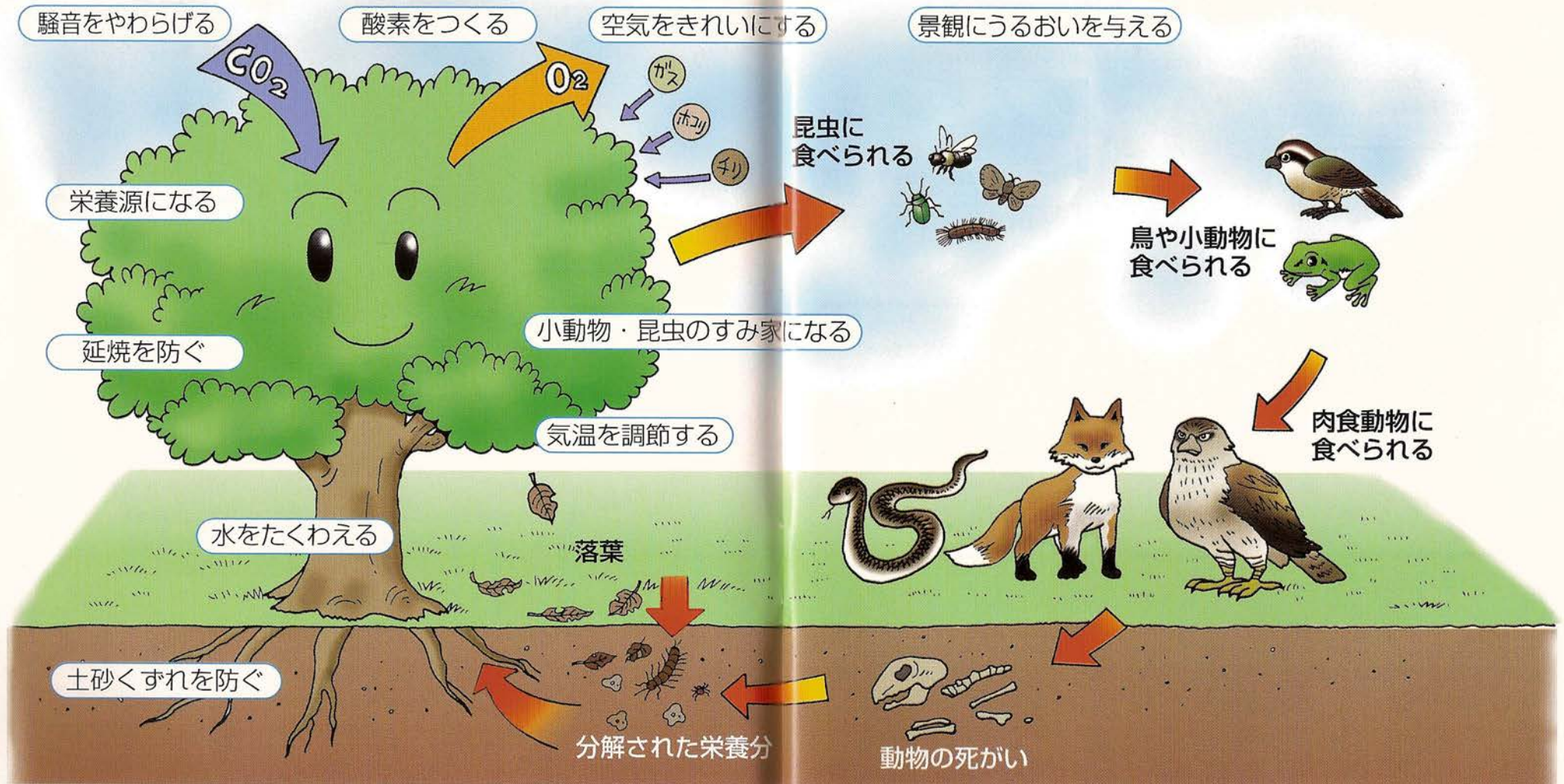
私たちのくらしと緑



緑は私たちが生きていくうえで欠かすことのできない大切なものです。

緑は命の源である水を蓄えたり、空気をきれいにしたり、気温の上昇を和らげたりするなど、私たちの日常の暮らしを支えてくれる根元的な地球の宝物であるといえます。また、緑は私たちの心を和ませ、街にうるおいを与えてくれるなど、ハード・ソフト両面からの恩恵ははかりしれません。

緑のはたらきと自然のしくみ



公園や街路樹、道ばたの雑草、庭に植えられた樹木や生け垣などの緑、さらにマンションなどのベランダや窓辺を飾る鉢植え植物も立派な緑です。

ひとつの家庭で育てられる緑に限りがあったとしても、緑を育てる家庭がたくさん集まれば、点から線、線から面へと自然に緑豊かで美しい街となるでしょう。

私たちのまわりの緑を増やして、自然が育む四季折々の新鮮な香りと息吹を感じられるような緑あふれる街、うるおいのある街をつくり育てていきたいものです。

緑を育ててみよう！

まずは身近な緑から…

寄せ植えに挑戦！

緑や花を育てるのは、そんなに難しいことではありません。

庭がなくてもちょっと日当たりの良い場所があればよく、また、初心者でも気軽に楽しめるので、コンテナ(容器)を使って自分の手で緑を育ててみましょう。

こんな道具があると便利

土入れ

寄せ植えした際の際間に土を埋めます。

ジョウロ

小さいもので十分です。

ハサミ

整枝したり根詰まりした根を軽く切ったりするのに使います。刃先が尖っていて細かい作業がしやすいものが便利です。

ネット

鉢穴に敷いて、土の流出や鉢底からの虫の進入を防ぎます。

移植ゴテ

植え替えの際に使います。大きすぎると持て余してしまいます。

こんな土なら花も緑もすくすく

市販のプランター用培養土は使用量に合わせて購入できて殺菌もされているので便利です。

自分で土をつくる場合は、赤玉土7・腐葉土(またはピートモス)3・火山レキ1~2くらいの割合でよく混ぜます。また、用土に緩効性の化成肥料を混ぜておくと植え付け後の花付きがよくなります。

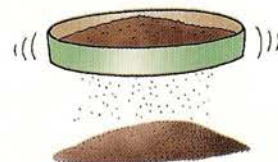
サボテンや多肉植物など特殊な土を好む植物を植える場合は、水はけのよい砂やレキを使用したりするので注意が必要です。



古い土の再生と再利用

コンテナ栽培の植物は露地栽培と違い限られた土の中で根を張って地上部を支え、さらに根を伸ばしながら生育に必要な水分や養分を吸収しています。植物が元気で丈夫に育つかどうかは根の成長と動きによることが大きく、人間生活に例えると用土は根にとって快適な住居でなければならないといえましょう。

ところが人間の住居とは違ってコンテナ栽培で一度使われた土は、1年もたたないうちに粒が崩れて微塵が多くなり排水性(水はけ)や通気性が悪くなります。また、ネマトーダや立枯病など土壌伝染性病害も心配です。さらに、腐植質が分解して特定の養分が不足したり微量要素の欠乏によって生育が悪くなることもあるほか、根から分泌される有機酸などの有害物質が残っていや地現象がおきたり土壌が酸性化したりします。



しかし、古い土でもこれらの欠点をなくして再生すれば、毎年、いつまでも使える基本的なベース用土になります。(ただし土壌病害が認められた土は使えません)

いろいろな再生法がありますが、どの場合もまず最初にフルイにかけて微塵を抜き、また古い土の根、茎葉などはきれいに取り除きます。

1. 黒いビニール袋を利用した太陽熱利用法

- ①古い土に水をかけてよく混ぜます。
- ②全体をよく混ぜて黒いビニール袋に入れて密封します。
- ③盛夏の時期の1ヶ月間ほど日光に当てて高温と紫外線で殺菌します。

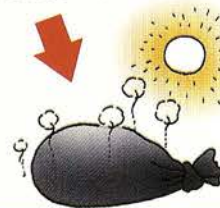


2. 熱湯消毒

- ①古い土を容器に入れます。
- ②これに熱湯をかけて殺菌します。土が少量の場合、簡単で確実です。

3. 加熱殺菌

- ①古い土を鍋などに入れます。
- ②これに水を入れながら80℃ほどの温度で20~30分蒸し焼きにして加熱殺菌します。



こうして消毒した再生用土は団粒が壊れやすく粒状のものも粉状になり、排水性と通気性も悪くなっているので、赤玉土(中~大粒)2割、腐葉土3割を混ぜて使いましょう。

こんな方法で堆肥づくりを楽しんでみませんか。

- ①穴を掘って落ち葉を埋めたりポリ樽などに入れ、米のとぎ汁などをかけ翌春までふたをして時々混ぜてやります。
- ②糞、落ち葉、刈り草、台所の生ゴミなどを素材として、穴を掘って15~20cmの厚さに積み十分に水をかけよく踏みつけます。鶏糞や米糠があれば薄くまきます。これを積み重ね、積み終えたら土を少しかけてふたをするかビニールで覆います。
- ③台所の生ゴミ(野菜くずや魚の食べ残しなど)の水分を切ってそのつどコンポスターに詰めていだけては。ただし、塩分や油分の強い生ゴミはコンポストには不向きです。



花と緑を生かしましょう

植物は一定期間成長を続けるので、植え込みの適期と特性、日照、風通し、温度、湿度、置き場所の雰囲気などにも注意しましょう。また、植え込み後比較的楽しむ期間が短いクリスマス用やお正月用の寄せ植えを除いて、開花期間や成長後の大きさと形なども考えてあまり密植しないようにします。

コンテナ (容器) のいろいろ

素焼き鉢、酒樽、(木製・プラスチック製・紙製)プランター、ポットなど、形状や材質、大きさに至るまで種類は様々です。



コンテナの形状や大きさ、材質によって様々な長短があるので注意しましょう。

デザイン ア・ラ・カルト

質感・形状

葉の光沢や形状、大小、色の明暗、斑の有無、ボリュームなど見たままのイメージは個々の植物によって異なりますし、使用するコンテナの色や大きさ、形状などを含めて完成された寄せ植え全体を直線的にするのか、放射線状にするのか、または球状にするのかなどを置き場所の雰囲気や日当たりとともに考えておきます。

そのうえで寄せ植えに変化をつけるとすればこのようなことが考えられます。

- ① 同じような植物を寄せ植えする場合、背の高い植物を後方に植え込んだり色彩などに変化をつけると立体的になります。
- ② 植え込んだ植物の開花時期がずれていたり花色が同じ場合などは、対照的な質感の植物を組み合わせます。
- ③ 枯れ枝やリボン、小型ファニチャーなどを効果的に配置します。



色彩

3原色(赤・青・黄色)と、このうち2色を混ぜた紫・緑・オレンジを基調とします。色相や色彩などでハーモニー(調和)とバランス(つり合い)をとって、寄せ植えのバリエーションをつけましょう。

より効果的に美しく見せるため次のような配色が考えられます。

① 同系色を使う

同じような色を使います。赤、ピンク、オレンジ、黄色などの暖色系であれば華やかで明るい感じ、青や紫などのブルー系でまとめれば涼しげで静かな感じになります。

例：ピンク+薄紫+赤紫色、オレンジ+クリーム+黄色



② 反対色を使う

相反する色を使用することによって、ハッとするような個性感とメリハリを演出します。

例：赤+緑色、紫+黄色、オレンジ+水色



③ 白を使う

白自体が単色として存在感のある色ですが、白は他の色とのつなぎ役として優しいイメージを出したり、全体をうまく調和させるなど、どんな色にも違和感なく入り込んでくれます。



④ グラデーション

赤から徐々にトーンを落として青色へ、あるいは濃い色から少しずつぼかすことなどによって、整然とした感を演出します。

植え込みの前に! ここがポイント



根がぎざり回って白く固くなったままでは、植え込み後の成長の妨げになるので手で軽くほぐします。



固すぎて手でほぐしにくい場合は、マイナスのドライバーなどで根を数箇所ほぐしてから植えます。

根をむしり取ったり切ったりすると株自体が弱ってしまう一部の植物は、白く回った根と土を軽く揉みほぐすようにしてゆるめてやります。

用意したもの

- | | | |
|-----------|----|------------|
| ■ゼラニウム | 1鉢 | ■ローボウル |
| ■ニオイゼラニウム | 1鉢 | ■鉢穴ネット |
| ■ランタナ | 1鉢 | ■土入れ |
| ■マーガレット | 1鉢 | ■つき棒 |
| ■ペンタス | 1鉢 | ■軽石 |
| ■プレクトランサス | 1鉢 | ■培養土(元肥入り) |



1



鉢穴にネットをあてがいます。

2



ネットがずれないように軽石を入れます。

3



軽石の上に適度な量の土を入れます。土の量は根鉢の高さが一番高い鉢にあわせてます。

4



手で軽く表面をならします。

5



植え込みの起点を決め、株の根本を押さえてポットから静かに抜いて鉢に置きます。この場合はゼラニウムを起点として置いていきます。

6



順に各株を鉢に植え込みます。

7



他の鉢よりも根鉢の高さが低いものは、植える前に土を入れて他の鉢と高さがそろるようにします。

8



ひとつおりの植え込んだら、葉を持ち上げるようにして鉢際の隙間も点検して少しずつ土を入れます。また、鉢全体を少し持ち上げて地面に2〜3回トントンと軽く落とし、鉢内の隙間をなくします。

9



隙間に土がしっかり入るようにつき棒でつついてみます。土がへこんだ部分には土を補充します。

10



水をたっぷり与えます。大きく沈んだところなどには土を足します。ウォータースペースは1〜2cm。



完成!

用意したもの

- | | | |
|-----------|----|------------|
| ■ポインセチア | 1鉢 | ■ローボウル |
| ■デュランタライム | 1鉢 | ■鉢穴ネット |
| ■コニファー | 2鉢 | ■土入れ |
| ■アイビー | 2鉢 | ■軽石 |
| ■カロセファルス | 1鉢 | ■培養土(元肥入り) |



1



鉢穴にネットをあてがいます。

2



ネットがずれないように軽石を入れます。

3



軽石の上に適度な量の土を入れて表面をならします。

4



完成後をイメージしてポットのまま置いてみます。

5



出来上がりのイメージ。

6



いよいよ植え込み。株の根本を押さえてポットから静かに抜いて鉢に置きます。
この場合は背の高いコニファー（ゴールドクレスト）を起点として置いていきます。

7



順に各株を鉢に植え込みます。

8



ひとつおりの植え込んだら、鉢全体を少し持ち上げて地面に2〜3回トントンと軽く落とし、隙間やへこんだ所には土を入れながら微調整をします。

9



水をたっぷり与えます。大きく沈んだところなどには土を足します。
ウォータースペースは1〜2cm。



完成!

この寄せ植えは植物の今後の成長を楽しむことが目的とするものではないので(文字通りこれで完成品)、クリスマス後は崩して各植物を別々の鉢に植え込みましょう。

用意したもの

- | | | |
|------------|----|------------|
| ■アイビーゼラニウム | 2鉢 | ■バスケット |
| ■プロウリア | 2鉢 | ■土入れ |
| ■ヘリクリサム | 3鉢 | ■つき棒 |
| ■ドクダミ | 2鉢 | ■霧吹き |
| ■アイビー | 2鉢 | ■培養土(元肥入り) |
| ■アメリカンブルー | 1鉢 | |

1



元肥を混ぜた軽めの培養土を入れます。

3



順に各株を同じように繰り返して植え込みます。

5



バスケット上部のキャップをはめ込みます。

2



色彩や形状など全体のバランスをあらかじめイメージして、根株をバスケットの間に差し込んで植え込みます。
乾燥気味の鉢などはバケツに水を用意して水をたっぷり吸わせてから植え込みます。

4



数鉢を植え込んだら土を入れますが、これを2〜3回繰り返します。

6



上部にも鉢植えの要領で植え込みます。

8



外見上に隙間があってハンギング本体がむき出しになって見えたりする場合は、園芸用針金などで草姿を調整して隙間をなくします。

7



すべて植え込んだ後、隙間に土がしっかり入るようにつき棒でつつきます。土がへこんだ部分には土を補充します。

9



水をたっぷり与え、霧吹きもしましょう。

バスケットのいろいろ



ハンギングバスケットは市販品だけではなく、不要になった自転車かごや洗濯かご、大きめのペットボトルなどを使用することもできます。



完成!

ハンギングバスケットに植え込むことで本体が植物にとって負荷のかかることであり、完成直後はまだ根が傷んだ状態です。このまますぐ飾るのではなく4〜5日はぬれた新聞紙でハンギング全体を覆う(半日陰に置く)、風に当てない、水やりはもちろん霧吹きもするなどのことに注意します。

植え込み後の管理

水やり

植物の体内には70～90%の水分が含まれており、植物を管理するうえで水やりは欠かすことができません。また、植物は葉などの地上部だけではなく、根からも呼吸しているため、鉢内がいつも水浸しでは呼吸に必要な空気の相がなくなり、根腐れをおこしてやがては枯れてしまいます。

水やりは植物と容器の種類や置き場所などによってやや異なりますが、鉢土の表面が乾いたら鉢底から流れ出るくらいたっぷりと与えるのが基本です。

このことによって、水分だけではなく、鉢内の土の隙間にある悪いガス類を鉢外に出し、新鮮な空気を鉢内に取り込むのです。また、鉢底から流れ出た水を受け皿に溜めておいては絶対にいけません。



ハンギングバスケットは乾きやすいので毎日水やりするのが基本です。

肥料

あらかじめ培養土に緩効性肥料を混ぜておいても(元肥)、次々と花を咲かせる一年草などはやがて肥料切れして花付きが悪くなるので7～10日に一回の間隔でリン酸分の高い液肥を追肥します。

一般に液肥は水やりを兼ねて与えることが多いのですが、より肥料の効果を高めるには水を与えた後に液肥を与えます。これは、鉢土が乾いた状態で液肥を与えても鉢の中まで十分に浸透せず鉢底から流出してしまうからです。

液肥を与える基本は、濃度は薄めにして回数を多くすることです。根が傷んでいる植物や温度が低い時は施肥を控えるか、さらに薄めて与えます。

花がら摘み・切り戻し

次々と開花させる植物はこまめに花がら摘みをします。咲き終わった花をそのままにしておくと、実を結ぶために余計なエネルギーを使い株自体が弱まり早く老化したり、腐った花弁が病気の原因になったりするので、こまめに取り除きましょう。

必要以上に伸びた茎や葉を取り除くことを切り戻しといいます。切らずに放っておくと株元の芽や葉が枯れてしまうので、花が少し咲いていても思い切って切り取ります。切り戻しをすると一時的に花はなくなりますが、脇芽が出て姿もよくなって花もたくさん咲くようになります。ただし、気温が低くなるとあまり伸びないので、切り戻しは7月中旬くらいまでにします。



病虫害防除

日頃から日当たりや通風などに注意するなど、植物をよく観察し、病気や害虫の生理状態、殺虫・殺菌剤の種類ごとの特性や効力などについて理解を深めましょう。薬剤による病虫害防除は適期、適剤、適量が原則です。



薬剤に頼らない栽培環境をつくりましょう

病虫害防除の簡単な方法は薬剤を使用することですが、できることなら薬剤を使いたくないとか、使う回数や量を減らしたいという方も増えてきていますし、その方が本来的で自然の摂理にかなった状態であろうと思われます。

なるべく薬剤を使わず病虫害の被害を少なくする方法は、何といたっても植物の原産地を知りできるだけ生まれ故郷の環境に近づけてやることと清潔な栽培環境を保つことです。生まれ育ったところが夏涼しいとか、日照りが強いとか、年中湿っているとか、日陰で育ったとか、それぞれいろいろな育ち方をした植物にきれいな花を咲かせてもらうためには、置き場所や管理に工夫して少しでも植物の好む環境をつくってやることです。

そうした環境で育てられた植物はすくすく元気に育つので、病虫害にもかかりにくく、かかったとしても被害も軽くすむことが多くなるでしょう。

■病虫害をできるだけ寄せつけないためには、こんな方法もあります

- 卵や幼虫、また病気に冒された葉は、発見次第、早めに取り除く。
- 肥料のやり過ぎ、特にチッソ分過多は病虫害の被害を大きくするので注意します。
- 株元の落ち葉や枯れ枝などは病虫害の拠り所になるので、早めに集めて処分するか堆肥とします。
- アオムシなどは見つけたらこまめに捕殺します。
- アブラムシやコナガは反射光線を嫌うので、小面積ならアルミホイルを敷くなどすると防ぐことができます。
- 発生してしまったアブラムシの対策としては牛乳を散布すると効果があります。晴天の午前中、牛乳を葉全体に散布し、牛乳乾燥時に起こる圧縮力でアブラムシの腹部にある呼吸器を塞いで窒息死させます。その後は植物についた牛乳をきれいに洗い流します。
- ナメクジは小容器にビールを少し入れておくと寄ってくるので捕殺します。
- 混植法：よく知られているのはアサガオが虫よけになるというように、他の植物の力を借りて病虫害を防ぐことができます。(寄せ植えやハンギングバスケットの防除とは少しかけ離れますが……)
- ネギ類を混植するとダニの予防になります。
- トウガラシを混植するとモンシロチョウが寄りつかないのでアオムシの予防のほか、ハダニにも効果があります。
- ミニトマトを混植するとタバコエやコガネムシの予防になります。



このようにして、まずは病虫害をできるだけ寄せつけないような植物にとって望ましい栽培環境をつくり、植物を健全に生育させておくことが重要です。

緑と花でドレスアップ 1

玄関アプローチ

家の顔となるのは玄関前です。その家を訪れるお客様を最初に迎えるところですし、家の前を通る方にとっても色とりどりの花や植物で飾られているのは楽しいものです。

右の写真は、玄関先を立体的に飾るのに効果的なコンテナやハンギングバスケットを使っての寄せ植えで装飾した例です。北国札幌は夏が涼しいので、植物をやや密植気味にしてもむれにくいので、次々に咲く花を長い期間楽しむことができます。



ベランダ

ベランダというと物干し場や避難通路、あるいは一時的な物置場として使われていることが多いようですが、ヨーロッパでは花と緑がベランダの主役で自分や家族が楽しむと同時に他人にも見て楽しんでもらう場として装飾されています。

決まり切った画一的なベランダ園芸はありませんし、ベランダ自体のつくりや方角なども考えアイデアを活かして緑と花を楽しみましょう。

マンションなどの集合住宅のベランダは戸建て住宅の庭ほど広くはなく、花や植物で飾る空間も限りがありますし、階が高いほど風が強くなって土と植物の乾きを速め、また葉や枝がすれて傷つくことも多くなります。また、上階のベランダがひさしのようになって光が遮られたり、雨水も十分にあたらなかったりします。

しかし、ともすればむき出しのコンクリートで味気なく無機質なイメージになっているベランダもウッドパネルやラティスフェンスを効果的に配置するなどの工夫次第で床や壁の硬さにやわらかさとうるおいが演出され花と緑を引き立たせたり、コンクリートの照り返しを抑えたりしてくれます。

ただし、これらベランダ園芸では非常口の安全確保はもちろん、水やりの際に階下へ水が漏れないよう鉢皿を確実に置くほか、鉢やプランターのほか花がらなどの落下物に注意を払うことは当然のエチケットでしょう。



左の写真は、一般的な洋風のベランダをイメージした装飾例です。ベランダの柵にはラティスフェンスを使い、床には明るめのウッドパネルを敷いています。また、床の一部には下にシートを敷いて化粧パークを埋めたり、レンガを積んで鉢を置くなどして立体感とやわらかさを演出しています。落ち着いた雰囲気のある植物は季節の花とハーブ、観葉植物を使っています。

右の写真は、和風のベランダをイメージした装飾例です。

ベランダの柵にはラティスフェンスとすだれを使い、床はやや暗めのウッドパネルを敷いて落ち着きを演出しています。

コーナーには玉石を配置して和風の雰囲気さをさらに高めています。

植物も涼しげで落ち着いた同系色でまとめています。



初夏から
夏遅くにかけて

鮮やかな緑づくり花づくりは ぜったいに北国 札幌がいい!

長く寒い冬が終わり雪解けもどんどん進み、パンジーやビオラ、デージーなどを花壇に植え楽しむことができるのは札幌では4月中旬ごろからです。

それからまもなく5月の連休ころからペゴニアやペチュニアといった夏花壇用の花苗が販売されていますが、これらの花苗は5月上旬に購入してすぐ露地植えなどの戸外管理ができるわけではありません。戸外管理にはまだ早すぎるため枯れてしまったり、枯れないまでも寒さや



日照不足で生育障害がおきて後々まで影響してしまいます。ですから、まだ寒さの残る5月上旬～中旬に夏花壇用の花苗を購入する場合はすぐに戸外管理したりせず、玄関フードなどの場所で植え込み適期まで養生します。

札幌でこれらの戸外管理が可能となるのは毎年6月10日ごろ、札幌まつりの少し前です。この時期になると日平均気温が15℃になって遅霜やリラ冷えの心配もなくなり、パンジーなどの春花壇用植物に替わって夏花壇用植物を戸外で管理することができるようになります。いよいよこれからが札幌で花と緑を育てる醍醐味といえます。

札幌は本州などと違い涼しく梅雨や極暑もありません。ですから、本州で一時的に植物が衰える時期(7～8月)であっても、札幌で栽培する植物にとっては快適な気候風土であるため花も衰えることがなく、やや暑さやムレに弱い植物(フクシア、キンレンカ、ロベリア、リビングストーンデージーなど)でも北国札幌ではうまく育てることができます。特にフクシアなどは高温多湿を嫌うため本州などでは夏越しに大変苦労するようですが、夏が涼しい札幌では戸外でそのまま育てることが可能です。

また、札幌では熱帯夜となることもほとんどなく、昼夜の温度差があるため季節の花や葉の発色も本州などで栽培する以上にたいへん鮮やかになります。特に6月以降の夏花壇に使用する植物は、種類によって降霜期まで長く開花し続けて楽しむことができます。



このように、多くの種類の緑と花の美しさを同時期に長く楽しむことができるのが北国札幌における植物栽培の優位性であり大きな特徴であるということです。

その優位性を引き出すためには、植物にとっての適切な栽培環境を知り常にその状態を心がけてやるということが大切です。

緑と花でドレスアップ2



ガーデニング参考花壇 第1回ガーデニングフェア・さっぽろより

都市の緑化推進とガーデニングを市民の間に定着・発展させるため、ガーデニングとランドスケープとの結合を図りながら、北国らしいライフスタイルの実現と造園技術の向上に寄与することを目的としてガーデニングフェアが開催されました。

フェアでは、草花や樹木、コンテナ、土、肥料、石材、ウッドデッキなどのガーデニング用品の展示・販売、スモールガーデンやコンテナガーデンの実技講習のほか、ガーデニングコンクールなどが実施されました。

特にガーデニングコンクールでは造園・園芸に携わる22社が3m×5m=15㎡の敷地内に一般家庭の庭づくりの見本となる素晴らしい作品をそれぞれ出展し、訪れた多くの方々の目を引いていました。これらの作品の中から期間中に会場を訪れた市民投票と関係機関の講評会により上位5作品が決定されました。



この5作品を参考花壇として製作した各社のコメントとともに紹介いたします。

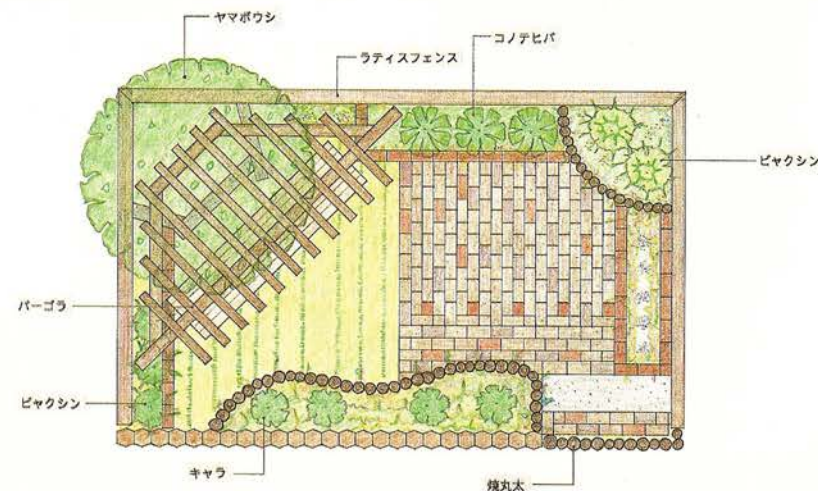
写真及び資料提供：社団法人札幌造園協会・札幌造園技能士会



主催 社団法人札幌造園協会・札幌造園技能士会・財団法人札幌市公園緑化協会
期間 平成10年6月13日～6月21日
場所 サッポロさとらんど

ガーデニングフェアは多くの皆さまから好評をいただき平成11年度も継続して実施されます。プロが創った庭づくりの数々をぜひご覧になってはいかがでしょうか。

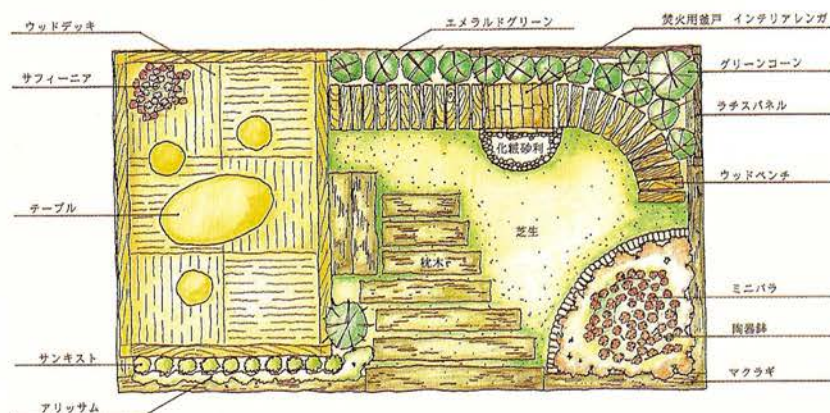
札幌市長賞



出展コメント：木村造園株式会社

パーゴラの形に工夫を加え、小さな敷地でも狭さを感じさせないように意識した設計をしました。また、パーゴラの屋根に樹木の枝を利用して、木陰を作り和やかで落ち着いた庭になっています。焼き丸太やレンガを使った花壇には、季節の草花やコニファーなどの組合せにより赤・青・黄色のコントラストが、コンパクトに仕上げた庭を引き立たせるとともに、一段とパーゴラの存在を強調することと思われます。

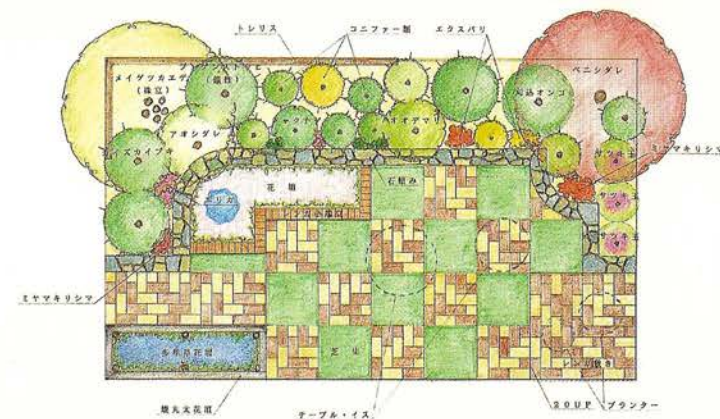
社団法人札幌造園協会理事長賞



出展コメント：丸藤造園株式会社

家族のくらしをアウトドアリビングとして庭の中に考えてみました。四季おりおりの花々や木の香りを体で感じながら、親しい仲間とのティータイムや家族みんなでのパーベキューパーティなど庭をリビングのように、夜は星空の中グラスを片手に小さなカマドでたき火を楽しみ、快適で居心地のよい生活空間を演出してみました。

財団法人札幌市公園緑化協会理事長賞



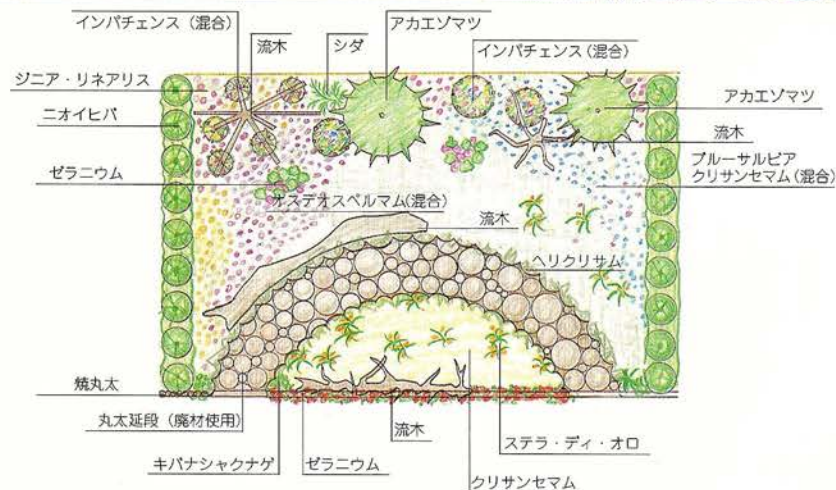
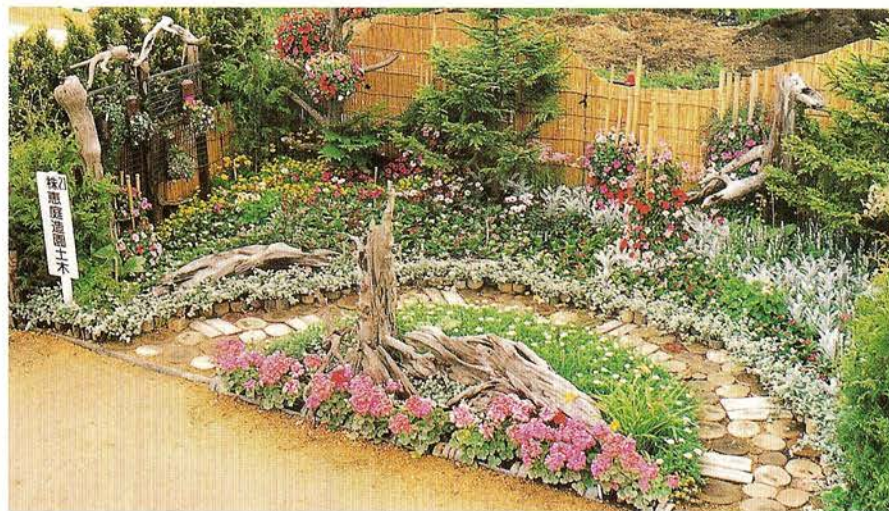
出展コメント：株式会社横山造園

＜アフタヌーン ティータイム＞をテーマに15㎡の小さな空間を植栽の変化で奥行きのある広さを感じさせる様にデザインしました。

コニファー類（常緑ヒバ類、針葉樹類）を主役に緑の色の変化が心を潤してくれます。ヨーロッパで人気の高い日本の紅シダレ、青シダレモミジを配し、ソフトな雰囲気強調。季節の花を楽しめる花木類を多く配し、花壇は1年草と宿根草の2ヶ所としました。

低い洋風な石積、レンガと芝生の色の調和で北ヨーロッパの住宅小庭園をイメージしました。ガーデンファニチャー（テーブルと椅子）を配し、プランターに季節の草花を添え、"アフタヌーン ティータイム" のくつろげる空間を演出しました。

社団法人北海道造園建設業協会会長賞

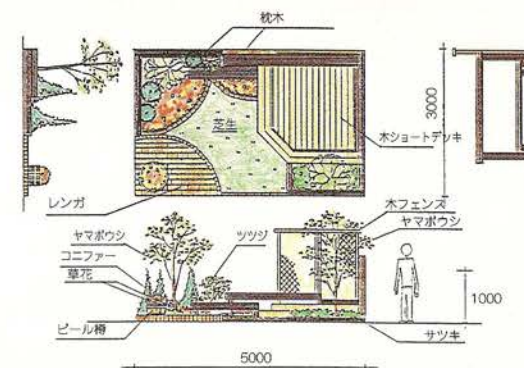


出展コメント：株式会社恵庭造園土木

今回のガーデニングは敷地の少ない場所で造りましたが、広い土地を持っていたても、また狭い場所でもそれなりの空間を生かすことが大切だと思います。

今回は一年草、多年草を取り混ぜて植え込み、資材はリサイクル物（流木、ペットボトル等）を利用してみました。設計した私なりのガーデニングですが、何を造るにしてもそれぞれの個性を楽しんでみては……。私も今回は少ない敷地で自然景を楽しんでみました。

審査員特別賞



出展コメント：タカヤ造園株式会社

現代社会の中で私たちは仕事や育児にと毎日の時間を費やしているのが現状です。休日にやすらぎの場を求めて海や山に出かけることもあるかと思いますが、毎日のようにいきません。そんな中、自宅の庭の片隅に小さくても休息の場を持つことができればと考え、このようなガーデンを設計してみました。

この庭の特色は、花木を主体としてレンガテラスとウッドデッキの調和をベースに周囲をトレリスフェンスと枕木で飾り、大小2つのレンガ花壇には高低差をつけ、またデッキ周辺は背の高い木（ヤマボウシ）やフェンスでプライベートな空間を保てるように工夫し、枕木の持つ落ち着いた質感を考え鉢花のテーブル台として利用することにしました。

植物の構成は落葉樹と常緑樹のバランスを最優先に考え、コニファーの持つ力強さとヤマボウシやツツジのような自然な樹形のやわらかさを最大限に引き出し、至る所に四季折々の草花を配置し、素朴でいて明るさのある出来るだけ自然に近いプライベートガーデンをイメージして作庭しました。

緑の相談

緑の相談

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日
(月曜日が休日の場合はその翌日)
12月29日から翌年の1月3日まで

緑の相談

相談日・時間
休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011)811-9370

みどりの図書
午前8時45分から午後5時15分まで

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

- 開園時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休園日
毎週月曜日
(月曜日が休日の場合はその翌日)
11月4日から翌年の4月28日まで

緑の相談

相談日・時間
開園期間中の毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011)883-2891

みどりの図書
午前8時45分から午後5時15分まで

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日
(月曜日が休日の場合はその翌日)
12月29日から翌年の1月3日まで

緑の相談

相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011)772-3511

みどりの図書
午前8時45分から午後5時15分まで

<温室観覧料>

- 大人(高校生以上).....130円
 - 小人(小・中学生).....60円
 - 65歳以上・幼児.....無料
- ※敬老手帳などをご提示ください。

麻生緑の相談室

北区北39条西5丁目(麻生総合センター内)

緑の相談

相談日・時間
12月29日から翌年1月3日を除く
毎週火、水、金、土曜日
(これらの曜日が祝日の場合は、
木曜日が代替相談日)
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011)757-1003

みどりの図書
午前10時00分から午後4時00分まで

グリーンデータバンク

グリーンデータバンク

グリーンデータバンクは、引っ越しや増改築などのためご家庭で育てることができなくなった樹木などの植物を登録していただき、受け取りを希望する方にこの植物を紹介する制度です。

かけがえのない大切な緑と花を有効に活用し、緑の街づくりに役立てましょう。

植物を提供される方は.....

- ・提供の対象となる植物の条件
 - ①庭木または庭植えの草花類(球根、宿根草)で、鉢物や一年草は対象外です。
 - ②植物の提供は無償です。
 - ③庭木の場合、庭木として十分利用可能なもの。
 - ④移植が容易にできるもの。
- ・所定の「提供申込書」に記入の上、豊平公園緑のセンターへお申し込みください(郵送可)。
- ・植物の名前は正確にご記入ください。名称が不明確な場合は写真やサンプルなどを添えて申し込み時によく説明してください。
- ・植物には移植適期などがありますので、斡旋期間に十分余裕を持たせてください。



受け取り希望の方は.....

- ・提供植物のリストが豊平公園緑のセンター、百合が原緑のセンター、平岡樹芸センターに掲示してありますので所定の「受取希望申込書」に記入して、豊平公園緑のセンターへ直接お越しの上、お申し込みください。



- ・同一植物に対する希望が多い場合は、申し込み先着順となります。
- ・移植に伴う労力や費用などは受け取られる方の負担となります。
- ・植物の受け取り後は結果報告をお願いしております。

グリーンデータバンクに対するお問い合わせ・お申し込みは
豊平公園緑のセンター TEL.811-9370

受付: 同センター開館日(左ページ参照)の午前9時から午後4時まで

札幌市都市緑化基金



緑あふれる街づくりのため 都市緑化基金の募金に ご協力をお願いします

都市の緑は私たちの日常生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎとうるおいといったかけがえのない充足感を与えてくれるものです。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様からご寄附いただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業をしています



記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで。返信用はがきが引換券となります。

「広報さっぽろ」などでお知らせします。

ツタ苗の補助

対象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

補助数：植え込み予定の50%(最大15本まで)

申し込み：春秋の年2回。「広報さっぽろ」でお知らせします。



ツタ緑化モデル施設の指定

ツタによる緑化推進の模範となるような市内の家庭、事業所を平成5年10月にモデル指定しました



小西信義邸/
中央区宮の森3条11丁目



穀物祭/
豊平区中の島1条9丁目



中野診療所/
東区北13条東16丁目



株式会社濱野建材店/
中央区北3条東5丁目



ヴァンローゼ/
中央区北3条西2丁目



札幌競馬場/
中央区北20条西15丁目



六花亭製菓株式会社真駒内店/
南区真駒内上町3丁目

フラワーポットの貸し出し

対象／市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

個数／1団体あたり30個以上100個まで。

規格／70cm×24cm×20cm。

期間／3年間継続

申し込み／年1回春のみ、「広報さっぽろ」などでお知らせ。
貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供します。



その他の事業



コンテナツリーの設置



フラワースタンドの設置



緑化の講習会



緑化手引き書の発行



緑の絵コンクール



緑と花のフォトコンテスト



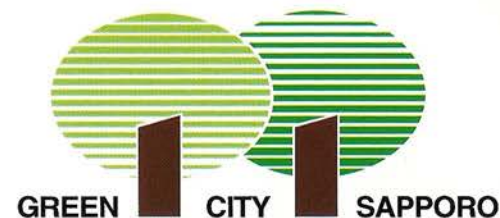
緑化パネルの展示



緑化イベントへの協力



この小冊子も基金の果実の一部で作成しています



●基金に関するお問い合わせは●

札幌市環境局緑化推進部自然保護課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル6階
TEL 011-211-2532

財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハタビル2階
TEL 011-211-2579



 緑と地球環境保護のため古紙100%の再生紙を使用しています

編集・発行 財団法人札幌市公園緑化協会